

令和7年10月10日発行 第170号

浜頓別町



社協だより

ふれあいネットワーク



(浜高ボランティア局による除雪活動の様子)

町民のみなさまに支えられ、

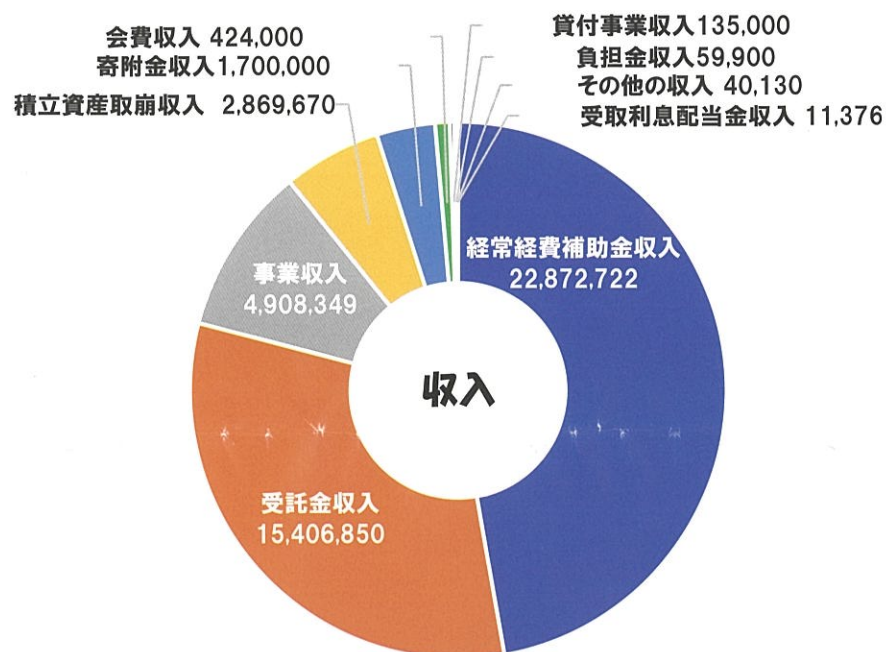
社会福祉協議会は事業を展開しております。

この「社協だより」は共同募金の助成金を受けて発行しています。

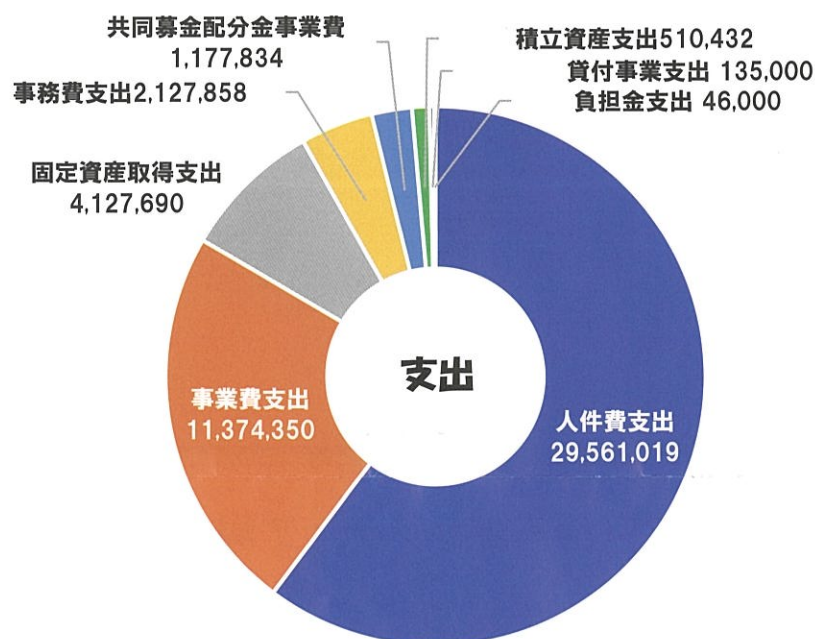


令和6年度 収支決算（単位：円）

収入



支出



（収入額 48,427,997 円－支出額 49,060,183 円）＋前期末収支資金残高 859,641 円

= 当期資金収支差額 227,455 円

令和 6 年度事業報告

○主要な事業の実施状況

1. 法人全体の運営

- (1) 理事会の開催（7 回）
- (2) 定時評議員会（1 回）及び評議員会の開催（2 回）
- (3) 定期監査の実施（4 回）

2. 地域の課題を発見・共有し、解決していくための仕組みづくり

- ① 地域福祉助成事業・・・2 件申請、2 件実施
- ② 日常生活自立支援事業・・・利用者 2 名に、社協職員から会計年度任用職員による支援に換わり実施。
- ③ ゆぽさぽサロンの運営・・・高齢者や障がい者が気軽に集える居場所づくりとして、毎月第 2・4 水曜日の午前 10 時から 2 時間程度実施している。

3. 一人ひとりの生活 課題を受け止め、包括的に解決していくための支援体制づくり

- ① 車椅子等短期貸出事業の実施・・・・・・・・・・11 台貸出 11 台返却
- ② ゲーム用具・疑似体験セットの実施・・・・・・・・4 団体に 5 回貸出
- ③ 生活援護資金貸付事業（町社協）の実施・・・・・・・・3 件 3 回の実施
- ④ 地域ケア会議への参加・・・・・・・・・・11 回の実施
- ⑤ ケース会議への参加・・・・・・・・・・2 件 9 回の参加
- ⑥ 就労準備支援事業の実施・・・・・・・・・・1 名受け入れ継続
- ⑦ 自立支援センター稚内事務所との連携・・・・・・・・4 件 17 回の実施
- ⑧ 生活支援体制整備事業の実施
 - ・ 5 件の相談があり、町内の事業所へ繋ぐことができた。
 - ・ 「ゆぽさぽサロン」や各事業を通して、町民の悩みごとやコミュニケーションを図ることができた。

- ・地域ケア会議の参加により、他関係機関との連携及び情報共有を図ることができた。
- ・多職種研修会及び生活支援コーディネーター養成研修会の参加により、資質の向上を図ることができた。

4. まちづくりに関わる多様な推進主体とネットワークの強化

① ボランティア研修会・会議への参加

令和6年8月1日に枝幸町で開催された地区ボラネット事業に、ボランティアひまわりの会の役員と共に参加し、交流を深めることができた。また、令和6年9月28日に江別市で開催された「ボランティア愛ランド北海道 in えべつ」に参加し、ボランティア活動における協議を行うとともに、交流等を通してボランティア活動の推進を図ることができた。

5. 地域づくりを主体的に担う人づくり

① ふれあいスポーツ大会事業

令和6年6月22日に多目的アリーナにおいて、高齢者を中心とした一般町民の対象者21名及び福祉関係者等54名の75名の参加・協力により実施した。(理事・評議員11名)

② 入門的研修の実施

令和6年10月4～7日、多目的アリーナにおいて道社協との共催により介護に関心のある方・介護の仕事に就きたい方・興味のある方を対象に、日常生活に役立つ介護の基本的な知識や技術を学ぶ研修を実施した。総参加者数21名うち浜頓別町民：14名（理事・評議員：2名）

③ 多職種連携研修会

令和6年10月9日に、保健・医療・福祉の多職種間の連携と情報共有を図ることを目的として、町主催で「認知症高齢者へより良い支援ができるように」研修会が開催され、職員4名が参加した。

④ ボラ弁交流事業

令和6年6月26日に浜頓別第6～8町内会の75歳以上のひとり暮らし高齢者18名に対し、浜頓別高校ボランティア局の生徒が夕食用の

弁当とお茶を届けながら、声かけ活動を実施した。

⑤ 軽食交流事業

浜頓別高校家庭科部の協力を受け、75歳以上のひとり暮らし高齢者宅を訪問し、家庭科部の生徒が手作りしたお菓子「蒸しパン」を手渡しして声かけ活動を2回実施した。

1回目： 9月18日 緑ヶ丘1～5丁目地区 33名

2回目： 10月 9日 旭ヶ丘・緑ヶ丘6丁目地区 16名

⑥ ふれあい昼食交流会事業

令和6年11月30日に、日の出北・日の出中央地区、下頓別地区・宇曽丹自治会の75歳以上の高齢者並びに障がいを持ちながら地域で暮らしている方の孤独感の解消と世代間・地域の方々とのふれあい・交流を深めるとともに、ボランティア活動の普及促進を目的として実施した。

(対象者23名、福祉関係者40名うち社協理事2名)

⑦ 除雪ボランティア事業

令和7年1月15日に北海道電力ネットワーク株式会社の職員の方々が、社会貢献活動の一環として、自ら除雪が困難な高齢者宅の除雪活動を実施した。また、令和7年2月1日に浜頓別高校ボランティア局員及び担当教諭と保健福祉課市区員の協力により、ひとり暮らし高齢者世帯5件に対して、ベランダの除雪活動を実施した。

⑧ 新入学児童ランドセルカバーの贈呈・・・・・・・・・・20名

⑨ 児童健全育成事業（すこやか子育て応援事業）

・申請件数9件 贈呈回数18回

⑩ 社協広報及びホームページの充実

・社協広報の発行・・・・・・・・7回発行（うち、冊子版1回の発行）

⑪ 福祉団体等の育成・支援

・浜頓別町老人クラブ連合会、ボランティアひまわりの会、浜頓別高校ボランティア局への活動支援

6. 課題に柔軟に対応し、解決していくための組織づくり

① 事務局体制の充実強化

町からの受託事業等により職員が4名増員され、事業の充実強化に努めることができた。

② 移送サービス事業の実施

公共交通機関の利用が困難な障がい者（児）・高齢者の町内の通院及び外出並びに社会活動への参加を容易にすることを目的として実施した。

実人員：44人 延人数：135名 延回数：221回

③ 福祉有償運送事業の実施

公共交通機関を利用して移動することが困難な人を対象に、町外の通院等を有償で行う送迎サービスを実施した。

実人員：42名 延人数：154名 延回数：382回

④ 温泉水運搬業務の受託

週2回（火・金曜日）4ヵ所に専用車にて、年95回温泉水の運搬を実施した。

⑤ 除雪サービス事業の受託

高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らせるように実施した。

生活路（実人員：59人 重機使用：1,671回 手作業：189回）
ベランダ（実人員：7名 実地回数：7回）

⑥ 地域活動支援センター「ふらっと」の運営

障がいを持ち外出の機会の少ない方に、自立に向けた支援と1人でも多くの方と交流してもらうことを目的とし、原則毎週月曜日の午後1時30分から2時間程度、調理、畑作業、キーホルダーの製作活動を行う一方で、浜頓別町交流館において、野菜即売会を実施した。

実人員：18名（メンバー：6名、ボランティア：12名）

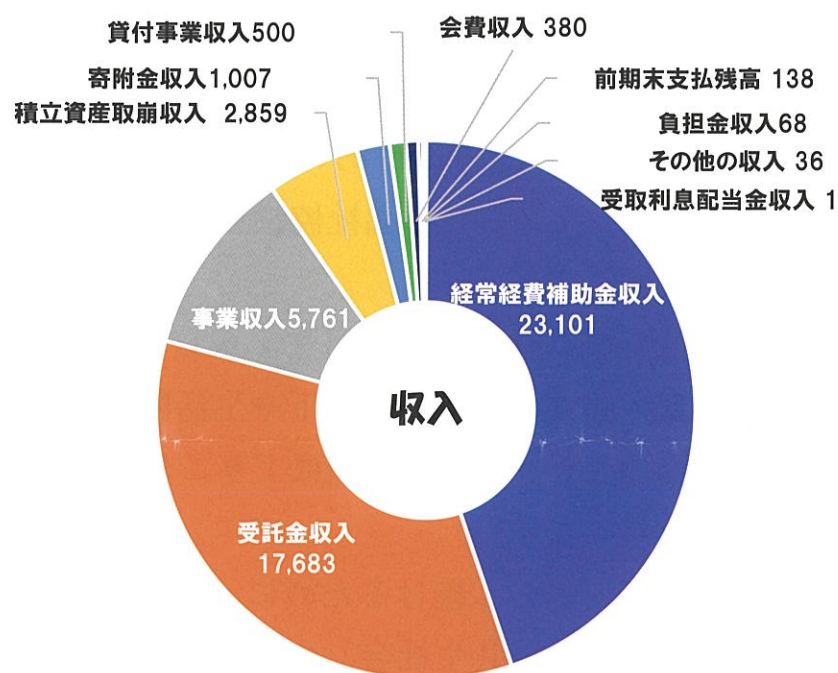
延人数：402名（メンバー：196名、ボランティア：206名）

⑦ 高齢者等グループホーム運営事業（町指定管理事業）

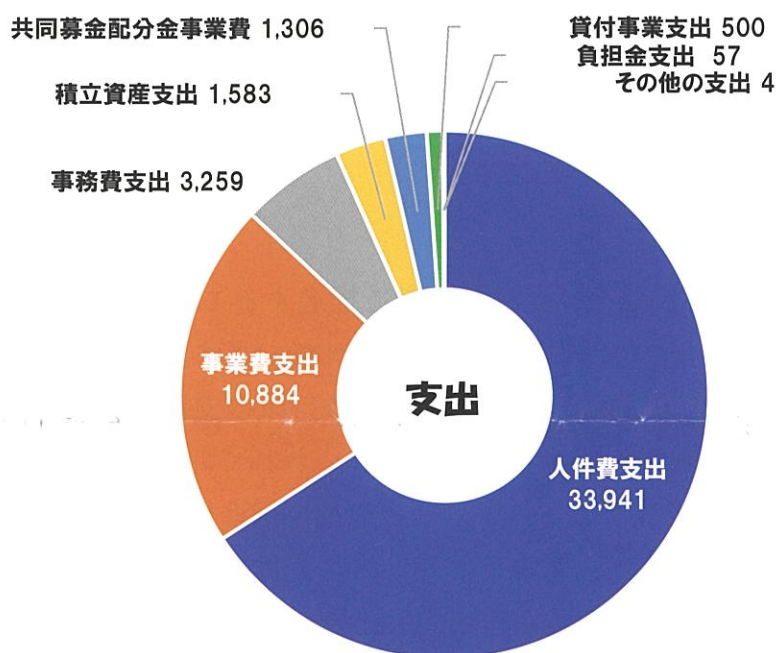
令和7年3月31日現在 入居者数6名

令和7年度予算（単位：千円）

収入



支出



収支予算額＝51,534,000 円

令和 7 年度事業計画

◇現状と課題

浜頓別町社会福祉協議会は、昭和 63 年の法人化から 36 年が経過し、この間、町から各種事業及び指定管理の受託や福祉関係団体、浜頓別高等学校ボランティア局等の協力を受けて、「ふれあいスポーツ大会」、「ふれあい昼食交流会」や「軽食交流事業」などの社会福祉協議会独自の様々な事業を展開しながら今日に至っています。

近年における福祉を取り巻く環境は目まぐるしく変化し、少子高齢化の進展、核家族化に伴う家庭・家族の介護力の低下や生活困窮など複雑化・複合化した地域における生活課題など、様々な要因によりこれからの地域福祉の在り方と介護人材不足などを鑑みます。

誰もが安心して地域で暮らし続けるために、その地域に合った方法で地域福祉活動を展開しながら「地域共生社会」の実現が求められています。この「地域共生社会」の実現には、住民と福祉関係者が共に地域住民の課題を「我が事」として受け止め、解決に導く「地域力」が求められます。

特に、日常生活自立支援事業・生活困窮者支援や在宅福祉サービス活動など、地域における生活支援について地域住民が、安心して暮らすことのできる地域づくりの取り組みを推進します。

◇基本方針・目標

社会福祉協議会は、「民間の社会福祉活動を推進することを目的とした営利を目的としない民間組織」として社会福祉法に基づき設置されています。営利を主たる目的とする企業では支援が困難で更には、公的制度の対象外のため行政の支援も難しいが、しかし何らかの支援が必要な方々は地域に数多く存在しているといわれています。このような「制度の狭間」にいる方々の支援が可能な組織として、社会福祉協議会は存在しています。

令和 7 年度は、令和 3 年からスタートした「第 4 期浜頓別町地域福祉実践計画」の最終年にあたりますが、基本目標である「地域共生社会の実現に向け福祉でまちづくり」の実現並びに持続可能な在宅サービス事業の実施に努めながら、次に掲げる基本計画、具体的事業に取り組みます。また、現計画の検証を行うとともに、地域住民にとって「信頼される」「必要とされる」社会福祉協議会を継承しながら、次期計画の策定に努めて参ります。

令和7年度 主な事業

1.問題の発見・共有・解決のための小地域福祉活動の活性化

- ① 町内会に対する福祉活動の普及・促進
- ② 要支援者への見守り活動
- ③ サロン活動
- ④ 日常生活自立支援事業の実施
- ⑤ 成年後見・権利擁護事業の実施に対応する体制の整備

2.一人ひとりの生活課題を受けとめ包括的に解決していくための支援体制づくり

- ① 車椅子貸出事業の実施
- ② ゲーム用具・疑似体験セット・行事用テント貸し出し事業の実施
- ③ 地域に役立つ情報の提供
- ④ 消費者・高齢者の被害防止（悪質訪問販売・特殊詐欺等）のための啓発活動
- ⑤ 心配ごと相談事業及び困りごと相談業務の実施
- ⑥ 地域包括支援センター及び関係機関との連携強化
- ⑦ 生活援護資金貸付事業（町社協事業）
- ⑧ 生活福祉資金・臨時特例つなぎ資金・特別生活資金の貸付（道社協事業）
- ⑨ 生活困窮者自立支援事業（稚内市社協受託事業・道社協事業）

3.まちづくりにかかわる多様な推進主体とのネットワークの強化

- ① ボランティアセンター運営とネットワークの強化

- ② 災害時におけるネットワークの構築
- ③ ボランティア活動における研修・研究会等への積極的な参加

4.地域づくりを主体的に担う人づくり

- ① ふれあいスポーツ大会の実施
- ② 軽食交流事業の実施
- ③ 児童健全育成事業とすこやか子育て応援事業の実施
- ④ 社協広報誌の発行及びホームページの充実
- ⑤ ふれあい昼食交流事業の実施
- ⑥ ボラ弁等交流事業の実施
- ⑦ 高齢者見守り・声掛け推進事業の実施
- ⑧ 福祉団体の育成・支援の実施

5.課題に柔軟に対応し、解決していくための組織づくり

- ① 社協会員の全戸加入の促進
- ② 事務局体制の充実強化
- ③ 第5期浜頓別町地域福祉実践計画の策定
- ④ 財政運営の確立と公費補助等の確保
- ⑤ 社協基金の造成と寄付金の有効活用
- ⑥ 高齢者在宅生活支援事業（除雪サービス事業）の実施
- ⑦ 高齢者在宅生活支援事業（移送サービス事業）の実施

- ⑧ 福祉有償運送事業の実施
- ⑨ 地域活動支援センター「ふらっと」の運営
- ⑩ 新規事業の受託・検討
- ⑪ 高齢者等グループホーム運営事業（町指定管理事業）

令和 7 年度 役員体制

会 長	横山 豊広		評議員	新川 隆之	高松 義喜
副会長	丹羽 幹典	小川 優子		阿部 あや子	武田 昭
理 事	今井 代志子	菊地 ともえ		只野 千景	榊本 聡
	佐々木 浪子	山田 元子		大西 禮子	西野 惇
	鈴木 芳博	杉本 直啓		大西 加代子	橋本 英晃
	大野 仁志（新）	伊藤 環（新）		杉目 文子	森 宏美
				島谷 一美	米山 美千代
監 事	生田 初雄	千葉 政廣		小山内 順一	堀 理香（新）

社協の主な事業

第 3 8 回 ふれあいスポーツ大会



令和 7 年 6 月 2 8 日（土）9 時 3 0 分より、浜頓別町多目的アリーナにて「ふれあいスポーツ大会」が開催されました。町民すべての方が参加できる交流の場として、今年で第 3 8 回目を迎えました。お手伝いの方を含め 8 0 名ほどが集まり、誰もが参加しやすい競技を全員で行い、昼食を食べて交流を深めました。参加していただいた皆様、ご協力いただいた関係者の皆様、ありがとうございました！

役場庁舎前花植え



令和7年6月6日、ボランティア団体ひまわりの会、民生委員、一般参加者と一緒に役場庁舎前の花壇（役場庁舎側）にマリーゴールド約600株を丁寧に植えました。

見守り声掛け事業



令和7年6月12日、浜頓別高校ボランティア局のみなさんにご協力いただき、旭ヶ丘地区の75歳以上の1人暮らし高齢者にお弁当を届けながら、声掛け活動を行いました。とても喜んでくださり、笑顔でお弁当を受け取っていただきました。ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。

ゆぽさぽサロン



毎月第2・第4水曜日の10時～12時、交流館にて「ゆぽさぽサロン」を開催しています。地域の誰もが気軽に集い交流ができる場です。手芸や塗り絵や麻雀をしたり、お茶を飲みながらおしゃべりをしたりと、参加者が自由に活動することができますので、お気軽にご参加ください。参加料は100円です。

地域活動支援センター ふらっと

「ふらっと」とは障がいをもった方々が、ふらっと気軽に来れる集いの場です。主に調理・製作・軽スポーツ・施設見学・野菜作りを行い、ボランティアさんに協力していただきながら、みんなで楽しく活動をしています。

一緒に活動する仲間、ボランティアさんを募集しています

お問い合わせお待ちしております（浜頓別町社会福祉協議会 2-2941）



車椅子・疑似体験セット・行事用テント・ゲーム用具の無料貸出

外出や入退院または通院等で、一時的に車椅子を必要とされている方に無料貸し出しを行っています。また、イベントやレクリエーション等で行事用テントやゲーム用具（ボッチャ・カローリング・輪投げ等）、疑似体験セットの無料貸し出しを行っております。

ご希望の方は社会福祉協議会（2-2941）までお問い合わせください。



浜頓別町共同募金委員会からのお知らせ

10月1日より79回目となる赤い羽根共同募金活動がスタートしました。浜頓別町共同募金委員会では、多くの方に「赤い羽共同募金」への関心を持っていただき、気軽に寄付のご協力をいただけるように、今年も当町のご当地キャラクター「スワットン」と赤い羽根のコラボによるオリジナルピンバッジを作成しました。

今年度は、浜頓別町内在住の、和田 幸恵さんの「エゾノリュウキンカとスワットン」のデザインが採用されました。

浜頓別町社会福祉協議会・(株)ニッコー・クッチャロ湖畔売店にて取り扱いをしており、500円以上の募金で1つお渡ししています。

また、浜頓別町交流館・はまとんべつ温泉ウイングの2ヶ所にはピンバッジのガチャガチャを設置しております。

浜頓別町の来年度以降の社会福祉事業に活用されますので、寄付にご協力お願い致します。



編集・発行/社会福祉法人 浜頓別町社会福祉協議会

事務局/浜頓別町中央南1番地 TEL01634-2-2941 FAX01634-2-3788